



松山市

祝 辞

本日、「第102回高縄会総会」が、盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

102回にも及ぶ「高縄会」の長い歴史は、土井内会長様をはじめ、本日お集まりの全ての皆様の、郷土を思う熱意や御尽力のたまものと、心から敬意を表します。

さて、今年度は、松山市にとって大きな節目の年になっています。

まず、秋には「えひめ国体」が開催されます。松山市では、水泳・陸上・野球など、24競技が実施され、そのうち北条スポーツセンターでは、サッカー、ハンドボール、ゲートボールなどが行われます。現在、松山を訪れる方に安心して観戦していただけるよう万全の体制で準備を進めていますので、是非この機会にふるさとに帰り、観戦していただければ幸いです。

次に、日本最古といわれる道後温泉ですが、国の重要文化財である道後温泉本館は、明治27年に現在の形に建築されてから120年以上を経過しており、将来に亘って松山の宝として残していくため、国体終了後に「営業を続けながら」耐震工事に着手することにしています。そのため今後、訪日外国人の方を含め、更に多くの観光客の方をお迎えするため、本館近くにある「椿の湯」の隣接地に、飛鳥時代の湯屋をイメージした、新しい温泉施設「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉(あすかのゆ)」を建築しています。今年9月のオープン予定ですので、皆様には是非お越しただいて、ゆっくりと温泉に入っておくつろぎいただきたいと思います。

また、皆様のふるさと北条地域の活性化のため、高縄山や鹿島などの魅力ある地域資源をいかしながら、祭り文化の継承や鯛めしキャンペーンなど、これからも様々な取組みを進めてまいりますので、引き続き御支援と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本日御臨席の皆様の、ますますの御健康と御活躍を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

平成29年4月1日
松山市長 野志 克仁